

育てよう・子どもたちの輝く笑顔

富士市次世代育成支援計画を策定しました



いつの時代も、子どもたちの笑顔は「みんなの希望」であり、富士市の未来をつくる「大きな力」です。

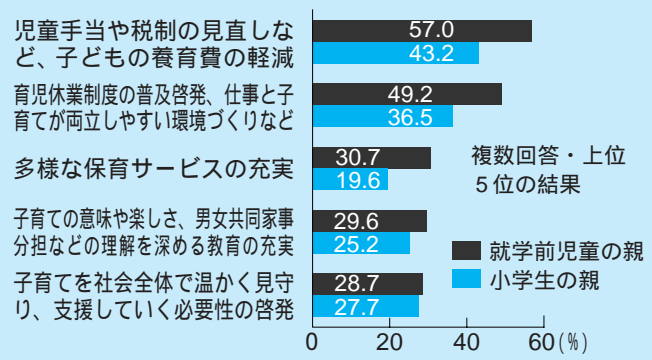
市では、富士市で生まれ育つすべての子どもたちが、明るく、健やかに、生き生きと生活できる環境づくりを行うための「富士市次世代育成支援計画」を策定しました。

子どもの成長をみんなで応援

次世代育成支援とは、子育てや、子どもの成長を支援するための取り組みです。平成十五年に国で定めた「次世代育成支援対策推進法」の地域行動計画として、富士市次世代育成支援計画を策定しました。

「子どもたちの成長を、家庭だけでなく、地域社会や企業、行政などが力をあわせて、みんなで見守り、支援していく」という考え方のもとに、計画の着実な達成に努めます。

Q. 少子化対策として重要だと思うことは（平成16年1～2月調査）



次世代育成支援に関する意識調査を行ったところ、少子化対策として重要だと思うことは「という問いに対し、養育費の軽減、仕事と子育ての両立のしやすさ、保育サービスの充実など、行政、企業の支援を求める回答が多く寄せられました。」

主な事業の今後の目標

事業名など	平成16年度	平成21年度
児童館	2館	4館
新規 不妊治療費助成事業	年間約100人に対し事業実施	
妊産婦・乳幼児などの家庭訪問指導事業	約1,500件	約1,900件
食生活推進員等学習会開催	12地区	24地区
通常保育事業	約3,250人	約3,450人
延長保育事業	20園	22園
乳幼児健康支援一時預かり事業	1園	3園
新規 休日保育事業	0園	1園
放課後児童クラブ	充実を図る	
地域子育て支援センター事業	5か所	8か所



心に余裕をもって
子どもと接したい

次世代育成市民懇話会に
参加した

牧野 栄子 さん(原田)

同年代の子どもを持つ親同士で集まると、いつも、子育てなどに対する率直な意見が出てきます。子育て中の親には、いろいろな悩みがありますから、そういう生の声を支援計画に生かせればと思います、市民懇話会に参加しました。

最近では、仕事をしながら子育てをする母親もふえています。しかし、子育てで仕事を離れることの不安が大きく、すぐに仕事に復帰する人が多いですね。そのためには、仕事と育児を両立できるような制度が、会社の規模にかかわらず、今よりも充実すると思います。

子どもが健やかに育つには、親や周りの大人たちが、心に余裕を持って生活することが大切だと思います。富士市全体が、心に余裕のある街になるといいですね。

計画の目標

子どもが主役!

子どもの権利の保障と
自立を応援する環境づくり

まずは家庭での子育て!

子育てをがんばるすべての
家庭を応援する環境づくり

支えます。地域でも!

子育てを地域全体で支える
環境づくり

基本方針

教育・学びの環境づくり

地域や家庭に見守られながら、子どもが育つ環境づくりを行います。

親と子の健康確保への支援

安心して妊娠・出産・育児ができるための支援や食育の推進を行います。

保育事業、経済支援など子育て支援サービスの充実

楽しく子育てができる環境づくりのために、経済的な支援などを充実させます。

配慮が必要な家庭や児童への支援
ひとり親家庭の支援や、児童虐待防止などの対策を充実させます。

安心して生活することのできる環境づくり

子どもを犯罪などから守り、安心して暮らせる環境づくりを行います。

子育てを地域全体で支えていく仕組みづくり、機運づくり

地域子育て支援センターなどの支援体制の充実を図り、子育てに対する地域社会の理解を深めます。

仕事と家庭のバランスのとれた就労環境づくり

就労と子育ての両立の支援を行います。



子育ては、家庭はもちろんのこと、地域のみならず支えていくものです。次世代育成支援計画は、そのための大切な計画です。

富士市の将来を担う子どもたちのため、私たち一人一人にどんなことができるのか、考えてみませんか。

問い合わせ

児童福祉課 055-1273-1

FAX 055-1273-1